

## 「ボケたくないよ～!!」

8班 芳賀

2月21日（木）8班の仲良しグループ（？）で映画と食事を楽しむことができました。

当日は、本川越駅に9時50分頃、8班の5人組（女性2名、男性3名）がマスクで変装して現れました。（花粉症対策でした）

向かうところは、駅からノンビリ歩いて20分ほどの「川越スカラ座」です。

昭和レトロ調な外観で、シルバー割引を大いに利用して1人1100円を払い、いざ館内へ。

「ちょっと待てー」との声がかかり、どうしたのと聞いたら、その前に「用足し」ですって。さすが、高齢者の集まりは準備万端です。

館内もレトロ調でいい感じですよ。足を伸ばせる座席を確保し、5人横一列で座りました。

映画の題名は「**ぼけますから、よろしくお願ひします。**」副題「**認知症の母と耳の遠い父と離れて暮らす私。広島県呉市。泣きながら撮った1200日の記録**」です。内容は、高齢者夫婦の老いてゆく生活を娘さんが撮ったドキュメンタリーです。本当の生の実生活の映写です。詳しい内容は、映画館の商売に差し障りがあるので省略します。

鑑賞後の皆さんの感想は、①全員が、すぐ目の前のことなので身につまされた。

②自分の親も映画のようであった等々。いやー、是非とも機会がありましたら、同窓会の皆様にお勧めできる映画かなと思いました。

以上が第1話です。

次に第2話です。（これからは、飛ばしても結構です）

映画鑑賞後の涙と鼻水でぐしゃぐしゃになった姿で待望のランチとなりました。

ちょうど、映画館の道路反対側に割烹「ささ川」がありました。そこも、レトロ調で待合室は、大正ロマン調で期待わくわくでした。食事は、和食でリーズナブルな料金で懐にも優しかったです。ちょっと昼酒などもいただき、高齢者の特権を満喫した次第です。

次に第3話です。（ここも飛ばして結構です）

楽しく美味しいランチも終わり、顔を少し赤くしながら、駅間まで道を大勢の観光客の間を縫いながらブラブラとそぞろ歩きです。本川越駅が視角に入り、もうすぐ帰れるかなあと歩いていたら、目の前に「焼き鳥居酒屋」を発見!! 時刻はちょうど午後3時、いいタイミングですね。素通り出来ない8班5人組は、一番最初の客としてお店に入りました。その後の事は、ご想像にお任せします。

しかし、今回は全員が参加出来なかったもので、次は全員揃って楽しもうと固い約束をして帰路に着きました。ジャンジャン!?



「川越スカラ座」笑顔でポーズ



「映画のパンフレットより」

「割烹ささ川」で和食をいただく

